2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名　　ユニオンツール株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　6278　　URL　www.uniontool.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役会長　　（氏名）　片山 貴雄
問合せ先責任者　（役職名）　執行役員 管理本部長（氏名）　倉田 憲昌　　(TEL) (03)5493-1017

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	43,330	54.7	13,581	105.3	14,323	127.9	10,510	125.8
2025年12月期第３四半期	28,015	22.7	6,614	55.3	6,285	30.3	4,654	30.7

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　12,482百万円(150.8%) 2025年12月期第３四半期　4,977百万円(　25.3%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	564.43	―
2025年12月期第３四半期	269.45	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	134,397	122,184	90.9
2025年12月期	88,202	79,998	90.7

(参考) 自己資本 2026年12月期第３四半期　122,184百万円　2025年12月期　79,998百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	60.00	―	70.00	130.00
2026年12月期	―	75.00	―		
2026年12月期(予想)				105.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

本日付けで「2026年12月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。詳細はそちらをご覧ください。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,200	49.9	19,000	117.7	19,800	143.4	14,000	129.0	743.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

１.本日付けで「2026年12月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。詳細はそちらをご覧ください。

２.1株当たり当期純利益は、公募による自己株式の処分株式数（1,800,000株）およびオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当による自己株式の処分株式数（270,000株）を含めた、予定期中平均株式数に基づき算出しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー　社（社名）　　、除外　　ー　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	19,780,000株	2025年12月期	19,780,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	296,893株	2025年12月期	2,366,445株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	18,620,584株	2025年12月期３Ｑ	17,274,807株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述についてのご注意）

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 ……2
（１）当四半期の経営成績の概況 ……2
（２）当四半期の財政状態の概況 ……2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 ……3
（１）四半期連結貸借対照表 ……3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……7
（継続企業の前提に関する注記） ……7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……7
（セグメント情報等の注記） ……7
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） ……7
（重要な後発事象） ……8
３．補足情報 ……9
（１）部門別の状況 ……9
（２）海外売上高 ……9
（３）為替換算レート ……9
（４）設備投資、減価償却費および研究開発費の状況 ……9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、地政学リスクやインフレ圧力が継続する一方、AI関連投資の拡大などを背景に、底堅く推移しました。わが国経済においても、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな回復の動きがみられました。一方、中東情勢や各国の通商・金融政策、原材料・エネルギー価格、為替および金融資本市場の動向などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループに関連深い電子機器業界では、AIサーバー向け需要が引き続き高水準で推移しました。産業機械向けでは、生成AIやデータセンター関連の設備投資を背景に需要が拡大し、車載向けについては電装化の進展が需要を下支えしたものの、地域によって回復にばらつきがみられました。

このような事業環境のもと、当社グループの高品質製品に対する需要は引き続き高水準で推移しました。こうした需要動向に対応するため、国内における設備増設による生産能力拡大や海外生産拠点での稼働率向上など、グループ全体で生産体制の強化を進めてまいりました。その結果、高品質製品の販売拡大に加え、価格改定や生産量の増加、稼働率向上による原価低減効果が寄与し、収益性が向上しました。

このようなことから、当期間の売上高は43,330百万円(前年同期比54.7%増)、営業利益は13,581百万円(同105.3%増)、経常利益は14,323百万円(同127.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,510百万円(同125.8%増)となりました。

次にセグメント別の状況ですが、日本では、生成AI関連市場における高品質製品に対する堅調な需要が継続し、販売拡大や生産量の増加、稼働率向上による原価低減効果により、利益率が大幅に改善しました。この地区での売上高(セグメント間取引消去額を含む。以下同じ。)は27,487百万円(前年同期比47.4%増)、セグメント利益(営業利益)は8,065百万円(同117.2%増)となっております。

日本を除くアジア地区では、中国・台湾を中心に、AIサーバー向けパッケージ基板および高多層基板分野の需要が拡大し、現地生産拠点の稼働率向上による原価低減が進みました。この地区での売上高は29,065百万円(同74.6%増)となり、セグメント利益は5,580百万円(同157.4%増)となっております。

その他、北米地区の売上高は2,027百万円(同40.0%増)、セグメント利益は230百万円(同172.5%増)となり、欧州地区の売上高は2,110百万円(同14.4%増)、セグメント利益は99百万円(同8.9%増)となっております。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は134,397百万円(前連結会計年度末比46,194百万円増)となりました。流動資産合計は77,436百万円(同31,762百万円増)となりました。主な変動項目は、現金及び預金(同24,889百万円増)、受取手形及び売掛金(同5,113百万円増)および棚卸資産(同2,237百万円増)であります。公募およびオーバーアロットメントによる売り出しに関連する第三者割当による自己株式処分を行ったことにより、現金及び預金が増加いたしました。

固定資産合計は56,960百万円(同14,431百万円増)となっております。このうち、有形固定資産合計は42,940百万円(同12,166百万円増)となっております。主な変動項目は、機械装置及び運搬具（純額）(同4,539百万円増)および建設仮勘定(同6,791百万円増)であります。投資その他の資産合計は13,876百万円(同2,231百万円増)となっております。主な変動項目は、投資有価証券(同2,169百万円増)および退職給付に係る資産(同41百万円増)であります。

負債合計は12,212百万円(同4,008百万円増)となりました。流動負債合計は10,773百万円(同4,092百万円増)となりました。主な変動項目は未払法人税等(同2,073百万円増)および賞与引当金(同1,264百万円増)であります。固定負債合計は1,438百万円(同83百万円減)となりました。主な変動項目は、その他(同71百万円減)によるものであります。

純資産合計は122,184百万円(同42,186百万円増)となりました。株主資本合計が110,084百万円(同40,213百万円増)、その他の包括利益累計額合計が12,100百万円(同1,972百万円増)となっております。主な変動項目は、資本剰余金(同26,817百万円増)、その他有価証券評価差額金(同1,524百万円増)であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足元の業績動向等を踏まえ、2026年８月６日に公表いたしました2026年12月期通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2026年12月期通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご確認ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,433	41,323
受取手形及び売掛金	14,478	19,591
有価証券	1,675	596
商品及び製品	6,179	6,182
仕掛品	1,480	2,211
原材料及び貯蔵品	4,049	5,552
その他	1,420	2,001
貸倒引当金	△43	△23
流動資産合計	45,673	77,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,309	9,948
機械装置及び運搬具（純額）	11,410	15,950
工具、器具及び備品（純額）	595	839
土地	6,163	6,233
建設仮勘定	2,852	9,643
その他（純額）	442	325
有形固定資産合計	30,773	42,940
無形固定資産	109	143
投資その他の資産		
投資有価証券	10,582	12,751
退職給付に係る資産	516	557
その他	547	567
投資その他の資産合計	11,645	13,876
固定資産合計	42,528	56,960
資産合計	88,202	134,397

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,993	2,706
未払金	469	469
未払費用	1,345	1,434
未払法人税等	1,196	3,269
契約負債	138	239
賞与引当金	1,052	2,316
役員賞与引当金	―	18
その他	485	318
流動負債合計	6,681	10,773
固定負債		
長期未払金	219	219
退職給付に係る負債	253	242
その他	1,047	975
固定負債合計	1,521	1,438
負債合計	8,203	12,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,998	2,998
資本剰余金	3,642	30,460
利益剰余金	69,595	77,425
自己株式	△6,365	△799
株主資本合計	69,870	110,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,186	4,711
為替換算調整勘定	6,591	7,068
退職給付に係る調整累計額	349	320
その他の包括利益累計額合計	10,127	12,100
純資産合計	79,998	122,184
負債純資産合計	88,202	134,397

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	28,015	43,330
売上原価	16,422	23,359
売上総利益	11,592	19,971
販売費及び一般管理費	4,977	6,390
営業利益	6,614	13,581
営業外収益		
受取利息	60	181
受取配当金	87	88
為替差益	－	470
固定資産賃貸料	40	44
補助金収入	3	20
助成金収入	65	67
その他	25	94
営業外収益合計	283	967
営業外費用		
支払利息	13	10
減価償却費	29	36
為替差損	420	－
支払手数料	93	112
租税公課	14	15
その他	41	49
営業外費用合計	613	225
経常利益	6,285	14,323
特別利益		
投資有価証券売却益	15	45
特別利益合計	15	45
特別損失		
投資有価証券評価損	－	42
特別損失合計	－	42
税金等調整前四半期純利益	6,300	14,326
法人税、住民税及び事業税	1,783	4,468
法人税等調整額	△138	△652
法人税等合計	1,645	3,816
四半期純利益	4,654	10,510
非支配株主に帰属する四半期純利益	－	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,654	10,510

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	4,654	10,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	816	1,524
為替換算調整勘定	△471	477
退職給付に係る調整額	△21	△29
その他の包括利益合計	322	1,972
四半期包括利益	4,977	12,482
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,977	12,482
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年4月6日開催の取締役会決議に基づき、2026年4月21日を払込期日とする公募による自己株式の処分（1,800,000株）および2026年5月20日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による自己株式の処分（270,000株）を行いました。

この結果、当第３四半期連結累計期間において、2026年4月21日を払込期日とする公募による自己株式の処分（1,800,000株）により、資本剰余金が23,320百万円増加、自己株式が4,842百万円減少しました。また、2026年5月20日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による自己株式の処分（270,000株）により、資本剰余金が3,497百万円増加、自己株式が727百万円減少しております。

当第３四半期連結累計期間末における資本剰余金は30,460百万円、自己株式は△799百万円となっております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	日本	アジア	北米	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,979	15,815	1,448	1,771	28,015	－	28,015
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,668	834	－	72	10,575	△10,575	－
計	18,648	16,650	1,448	1,844	38,590	△10,575	28,015
セグメント利益	3,713	2,167	84	91	6,056	558	6,614

（注）１　セグメント利益の調整額 558百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注1）	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	日本	アジア	北米	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,419	26,843	2,027	2,040	43,330	－	43,330
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,067	2,221	0	69	17,359	△17,359	－
計	27,487	29,065	2,027	2,110	60,690	△17,359	43,330
セグメント利益	8,065	5,580	230	99	13,975	△394	13,581

（注）１　セグメント利益の調整額 △394百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
減価償却費	2,339百万円	3,119百万円

（重要な後発事象）

（新工場建設および工場用地取得）

当社は、2026年10月16日開催の取締役会において、以下の事項を決議しました。

① 新潟県見附市の見附工場敷地内における新工場（見附第四工場）の建設

・延床面積：約6,600 ㎡（地上2階建て）

・竣工予定：2028年2月

② 新潟県長岡市関原町における工場用地の取得に向けた地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画の申請準備の開始

・取得予定面積：約150,000㎡

・建物規模：未定（地域経済牽引事業計画の承認後に決定する予定です）

・竣工予定：2030年

なお、いずれについても現時点では正式な契約を締結しておらず、投資金額は未定です。

詳細につきましては、2026年10月16日公表の適時開示文書「新工場建設および工場用地取得に関するお知らせ」をご参照ください。

３．補足情報

（１）部門別の状況

当第３四半期連結累計期間（自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）

	切削工具事業（百万円）	その他の事業（百万円）	計（百万円）	消去又は全社（百万円）	連結（百万円）
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	40,109	3,220	43,330	―	43,330
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	―	207	207	△207	―
計	40,109	3,428	43,538	△207	43,330
営業利益	12,753	1,041	13,795	△213	13,581

（２）海外売上高

当第３四半期連結累計期間（自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）

	アジア	北米	欧州	その他の地域	計
Ⅰ 海外売上高(百万円)	29,362	1,983	2,026	80	33,452
Ⅱ 連結売上高(百万円)					43,330
Ⅲ 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	67.8	4.6	4.7	0.2	77.2

（３）為替換算レート

		ＵＳ$	ＥＵＲ	ＮＴ$	ＲＭＢ
前第３四半期連結累計期間	実績	148.88円	174.47円	4.88円	20.88円
当第３四半期連結累計期間	実績	157.35	178.34	4.94	23.45
前連結会計年度	実績	156.56	184.33	4.98	22.36
当連結会計年度(計画)	計画	154.00	176.26	4.84	23.00

（４）設備投資、減価償却費および研究開発費の状況

	設備投資	減価償却費	研究開発費
前第３四半期連結累計期間	3,403 百万円	2,339 百万円	1,574 百万円
当第３四半期連結累計期間	8,384	3,119	1,926
前連結会計年度	5,720	3,316	2,341
当連結会計年度(計画)	13,713	4,691	2,561